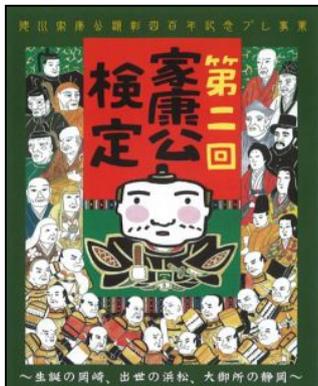


『臥龍梅』 蔵便り

平成二十六年文月



拝啓 急に暑さを感じずようになりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。



地元、静岡市では徳川家康公の400回忌を来年に控え、徳川家康公顕彰四百年記念事業を実施しております。家康は幕府開設後、秀吉の朝鮮出兵によって険悪化した隣国朝鮮との関係修復に腐心したことで知られており、朝鮮からの通信使を数次にわたって迎えたのもその一環です。去る6月9日、日韓両国の識者が静岡市に集い、朝鮮通信使の歴史的意義についてのシンポジウムが開かれ、終了後は清見寺のお座敷に席を移して懇親会が催されました。清見寺は、その昔通信使一行に宿舎として提供された寺であり、わが臥龍梅命名のゆかりとなった家康公お手植えの梅のあることでも知られております。そんなご縁で私にもお座敷がかけ、韓国総領事、徳川宗家十八代、県

知事、等々のVIPの皆さんに臥龍梅を召し上がっていただきました。お酒が入ると昼間とは打って変わって和やかな席となりました。臥龍梅が日韓両国の親善に寄与した次第であります。

7月6日(日)には大阪市住吉区帝塚山の料飲店「彩葉 あやな」さんで開かれた**臥龍梅の蔵元を囲む会**に出席いたしました。大阪まで出掛ける機会がめったにないのですが、帝塚山の料飲店3店、**あづま**さん、**彩葉**さん、**遊楽**さんの合同企画ということでお声をかけていただき勇んでかけたものです。



全部で6アイテムのお酒をご用意しましたが、通常の商品の中では誉富士の純米吟醸がもっとも好評でした。サプライズとして愛山50%の純米大吟醸の袋吊雫酒を最後にお召し上がりいただいたところ、第絶賛を博しました。最後は恒例のじゃんけん大会となり、会場内は大いに盛り上がりました。何よりも、「**大阪にも臥龍梅のファンはいるんですよ**」というお客様の力強い一言を聞かせていただいただけでも大阪まで出掛けた甲斐がありました。



さて、8月3日(日)に江東区清澄庭園で開催予定の**第5回臥龍梅を愉しむ会**ですが、入場券はおかげさまで全席完売いたしました。今年はまず**臥龍梅応援団**の皆さんにご案内したところ、団員の皆様だけで売切れてしまったものです。まだ応援団に未加入のご愛好家の皆さんは是非ともご登録ください。(ご登録は弊社HPからとなります。)



今月は**純米吟醸超辛口**を特別に手作業で壺詰めした**生酒**をご案内いたします。暑さの夏は超辛口のお酒で涼やかに乗り切りましょう。

暑さのおりからくれぐれもお体をお大事に。

平成26年7月吉日

敬具

鈴木 克昌